



## 【教育目標】 向上を求め、自ら学び、錬磨し合う生徒

### 村松桜中学校 教育目標

# 自立 未来に挑む 協和 教育目標

教育目標とは、村松桜中学校で行うあらゆる教育活動の理念であり、生徒の将来にわたって生きていくものです。そして、それは生徒、保護者、地域、教職員みんなの願いであり、共有し、生き続けるものです。それは時代が変わり人が変わっても続いていくものだと考えています。

教育目標の策定にあたり、教職員や生徒はもちろん、PTAや地域の皆様から御協力いただき、村松桜中学校の教育目標を策定いたしました。教育目標とはどのようなものなのか、策定に至る道筋、昨今の教育目標等について、教育委員会の指導主事から指導を受けながら、進めてまいりました。両校校長をはじめ教職員も、自ら教育目標を考えることはこれまでに経験がなく手探りの状態でしたが、会議を重ねるごとに目指す生徒像や学校像が明確になり、最終的に、これから生徒たちが未来の担い手となるための必要な要素を簡潔に取り入れました。

「教育目標が目指す生徒像」を三つの言葉で表しました。自立、協和、未来に挑むの三つの言葉に込められた意味は以下のとおりです。

#### 〈自立〉が表す生徒像

- ・自ら課題を見つけ、追求する姿
- ・気づき、考え、主体的に実行する姿
- ・かかわり、支えてくれたまわりに感謝する姿
- ・将来、他に依存せずに行動し、精神的・経済的に自立した姿

#### 〈協和〉が表す生徒像

- ・望ましい人間関係の中で、互いに高め合い切磋琢磨する姿
- ・身近な人の役に立とうとする姿
- ・人に対して寛容であり、思いやりをもって接する姿
- ・他と共存するために合意形成をはかり、社会性を身に付けた姿

#### 〈未来に挑む〉が表す生徒像

- ・夢と希望を追い求めて学び合う姿
- ・自ら生き方を学び、世の中を生き抜いていこうとする強さをもった姿
- ・人格や能力を高め、よりよい生き方を求める意欲をもった姿
- ・地域とかかわり、地域を愛し、地域の未来を切り拓いていこうとする姿

以上のような生徒の育成を目指し、地域に根ざした学校として教育活動に励んで参ります。ぜひ、これまでと変わらぬ御理解と御協力をお願いいたします。

## 【インフルエンザの影響】

2月になり、市内にもインフルエンザの影響が出始めました。山王中学校は中旬になってからインフルエンザで欠席する生徒が出始め、1年3組が18日～20日、1年2組は21日～23日を学級閉鎖としました。更に明日から三日間二年生を学年閉鎖とします。20日からは放課後の活動も自粛し、生徒の健康維持に努めています。まだまだ終息していませんので、油断はできません。週末の不要な外出はできるだけ避けて、これから迎える卒業式や入試、修学旅行に備えましょう。

また、来週から卒業式の練習が行われます。ジェットヒーターで暖房に務めますが、体育館はとても寒いので、できるだけ暖かい服装で参加するようにお話しください。インフルエンザの対応で、卒業式にかかわる計画が予定どおり進んでいません。特に、歌の練習が遅れており少し心配しています。しかし、一番大切なのは生徒の健康状態ですので、歌や卒業式の練習はできる範囲で進めていこうと考えています。

## 【生徒会活動縮小】

例年、生徒たちがとても楽しみにしている卒業前の生徒会活動が2月23日に計画されていましたが、インフルエンザの影響で大きく計画を変更せざるをえなくなりました。各部活ごとの3年生との対抗戦形式での活動は中止し、卒業生に贈るビデオの鑑賞のみ実施することとしました。これまで準備を進めてきた生徒会を中心とした皆さんの努力の成果が十分に発揮できず、とても残念に思います。

とにかく、卒業式や入試、修学旅行に影響が出ないように、生徒の状況をしっかりと見極めながら処置を講じていきます。御家庭でも御協力と御理解をお願いいたします。

## 【総合文化部】



総合文化部の1、2年生が、バレンタインデーにちなんで、チョコを使ってクッキーやコーンフレークを美味しくなるように手を加えてくれました。写真のようにとても美味しそうにできました。先生と先生が試食した証拠写真がパソコンに残っていました。他にも運の良い先生は食べる事ができたようです。

総合文化部は絵を描いたりする作品作りが主な活動ですが、こんなふうに料理なども機会を見つけながらやっているようです。いろいろなことに挑戦することはとても素晴らしいことです。私も食べてみたかったです。



## 【虚空蔵尊の祭礼】

前号で諸事情で今年は虚空蔵尊の祭礼には参加できませんと報告しましたが、先生、先生と学習指導補助員の先生が時間を差し繰ってとてもかわいらしい雪灯籠を作って、明かりを灯してくれました。薄暗くなった頃、ロウソクに火を灯すととても幻想的な雰囲気になりました。大勢の人に見てほしいのですが、場所が少し奥まっているので気がつかない人が多いかもしれません。生徒たちもこのたよりで初めて見ると思います。今年は参加できないと思っていただけに、少人数での取り組みでしたが、地域の行事に参加できて良かったと思います。よく見ると小さなお嬢さんも参加しています。先生の姪御さんも手伝ってくれました。

この祭礼が終わると、村松に春がやって来ると言われています。待ち遠しいです。

